

昔の暮らしを狂言で

市教育委員会が主催する催し「甲賀の暮らしと文化をもっと知ろう」が12月8日、碧水ホールで開催され、山内エココラブの狂言、テケテンキッズによる水口囃子などが上演されました。山内エココラブによる子ども狂言「水争い」は、地域の方からの聞き取りをもとに作られ、水の大切さと分かち合うことの大切さをおもしろおかしく表現しました。狂言師による指導を受けた子どもたち6人が、野洲川源流の山内に住まう農家に扮して一所懸命に演じました。

また、同地域に伝わる民俗芸能「黒川太鼓踊り」の記録映像も流れ、地域に伝わる歴史や文化を伝えるステージが繰り広げられました。

甲賀の暮らしと文化をもっと知ろう



▲狂言独特の口調や動きで水の歴史を表現

楽しく人権を学ぶ

第6回甲南ふれあいじんけん寄席

甲南ふれあいじんけん寄席が12月15日、忍の里プラザで開かれました。注目される若手の落語家の月亭太遊さん、浪曲師の春野恵子さん、講談師の旭堂南湖さんが出演し、話芸を通じて人との絆や思いやりの大切さを伝えました。この寄席は、楽しく人権を学ぶことのきっかけとして市人権教育推進協議会甲南支部が、6年前から毎年開催しています。第一回から参加されている講談師の旭堂南湖さんは、地元甲南町の出身で、自らの育児体験を交え地域とのつながりを話しました。また、演目「刃傷松の廊下」を披露し、観客は、巧みな話芸に引き込まれていました。



▲講談を披露する旭堂南湖さん

中学校にスポーツ用品を寄贈

第36回 甲賀・湖南省 チャリティーゴルフ大会



▲寄贈された軟式野球ボールとソフトボール

甲賀・湖南省チャリティーゴルフ大会が12月7日、名神竜王カントリー倶楽部で開催され、111名が参加しました。

「育てよう、励まそう、若い力と情熱を」をテーマに、両市の中学校を応援しようと実行委員会が毎年開催しており、今回で36回目を迎えます。

当日集まったチャリティ基金により、両市内10校の中学校に軟式野球ボールとソフトボール、総数1320球が贈られました。また、昨年からは被災地への応援として福島県富岡町教育委員会へも寄贈されています。

贈られたボールは、主に部活動で使用される予定です。

中学生が老人ホームの大掃除をお手伝い

信楽中学校

信楽中学校の生徒が12月16日、特別養護老人ホーム信楽荘の大掃除を手伝いました。

福祉委員を中心に1年生から3年生までの有志21名が、窓ふきやベランダの掃除に汗を流しました。

このボランティアは、17年前から毎年行われ、中学校の地域に根差した活動の一つとして同施設と交流が続けられています。

中にはおじいさんおばあさんの喜ぶ顔を見ることを楽しみに、3年間通して参加している生徒もいて、利用されている方が気持ちよく新年を迎えられるようにと懸命に取り組んでいました。



▲信楽荘の窓ふきに汗を流す生徒

土山地域の民俗芸能を身近に

土山地域に伝わる民俗芸能、太鼓踊りの演奏体験が12月15日、22日の2日間、森林文化ホールで行われ、市内の4歳から3年生までの3名が参加しました。

山内地域を拠点に活動している和太鼓六友会の指導のもと、土山太鼓踊りのうち「じゅんやく踊り」の拍子を縮太鼓や中太鼓で演奏しました。

この教室は、太鼓踊りを身近に感じてもらうとうと甲賀伝統文化活性化実行委員会が主催し、今回初めて行われたものです。

「じゅんやく踊り」は、リズムの違う二つのパートで構成されており、子どもたちは難しい拍子に真剣に取り組んでいました。

甲賀西保育園



▲園の側の畑で大根を収穫

おいしいおでんになあれ

甲賀西保育園の園児60名が12月17日、翌日行われる「おでんパーティー」のため、園で育てている大根を収穫しました。

4歳児と5歳児が力を合わせて収穫した後、土を水で洗い落とし、葉と根をなじり切りました。きれいになった大根は、園児たちから調理師に手渡されました。

自園給食を行っている同園では、滝区営農組合の協力を得ながら季節ごとの野菜を育て、毎日の給食で味わっています。

土山太鼓踊り体験教室



▲講師のお手本を真剣に学ぶ参加者